

地質ニュース

第471号 1993年11月

口 絵

北海道南西沖地震の地震災害

……………佃 栄吉・下川 浩一・奥村 晃史・池田 国昭・羽坂 俊一
エルジンジャン盆地の北アナトリア断層
……………奥村 晃史・吉岡 敏和・İsmail Kuşçu

1993年北海道南西沖地震の地震災害速報

……………佃 栄吉・下川 浩一・奥村 晃史・池田 国昭・羽坂 俊一・6
白嶺丸による北海道南西沖地震震源域の海底地質調査……………岡村 行信・13
1993年伊豆半島東方沖群発地震活動に伴う温泉の変化
—アンケート調査より—……………佐藤 努・野田 徹郎・19
エルジンジャン盆地の北アナトリア断層
……………奥村 晃史・吉岡 敏和・İsmail Kuşçu・26
インド岩石力学研究所との共同研究(予察)
—コラー金鉱山での山はね予知研究のために—……………楠瀬勤一郎・34

日本水紀行(6) 東海地方の名水……………島野 安雄・永井 茂・43
ライマン雑記(9) —日本油田地質調査(1877)……………副見 恭子・55

地学と切手……………65
新刊紹介……………服部 仁・66
編集後記……………奥村 公男・67

表 紙

北海道南西沖地震による奥尻島青苗地区の地震災害:

奥尻島青苗地区では地震直後に襲来した津波により、多くの人や家屋が失われた。津波は完新世低位段丘(旧汀線高度4.7 m)を覆い、完新世高位段丘(旧汀線高度7.1 m)の下部まで達した。青苗岬先端部の完新世低位段丘にあった家屋は津波によりほとんど消失した。津波での倒壊を免れた完新世高位段丘の多くの家屋は地震後の火災により消失してしまった。青苗地区最上位の更新世後期の段丘(三崎面あるいは小原台面相当)にあった家屋の被害は比較的軽微であった。青苗地区の海成段丘区分については本文の第5図参照。また、国土地理院のデータによると青苗漁港は地震の前に比べて80 cm 沈降したことが明らかになっている。(写真提供:朝日航洋株式会社, 1993年7月13日午前9時30分撮影, 写真に向かって上が北)

通商産業省
工業技術院

地質調査所

〒305 茨城県つくば市東1-1-3

Tel. 0298-54-3520, Fax. 0298-54-3533

Geological Survey of Japan